

2010 年度 卒業研究 1

小宮山研究室を第一志望にしてくださいました方へ

選考結果について

今年度は、17 名の方が小宮山研究室を第一希望に選んでくださいました。定員 10 名 (+1 名の教員裁量分) の範囲を超えましたので、事前にホームページで公開しましたとおりに、志望理由書に記載された研究計画において、以下の 4 つの能力を評価し、選考しました。

1. 問いを見つける構想力
2. 斬新な仮説を導き出す独創性
3. 検証方法に関する応用力
4. 結論を導き出す論理的思考力

一生懸命考えてくださった学生の皆さんに、選考結果をお示しする説明責任が私にはあると考えていますので、ここに選考結果を記します。選考基準に関して評価の高い順に A~E に分類した結果をグラフにしたものが図 1 です。

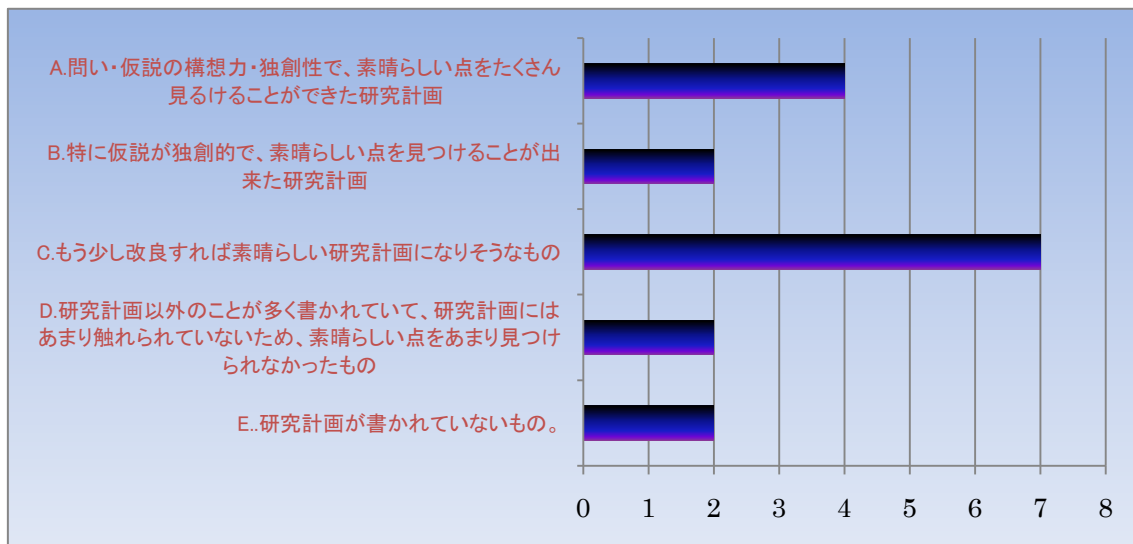


図 1 2010 年度卒業研究 1 小宮山研究室研究計画評価結果

A~E のランクごとに、評価・採択について説明していきます。まず E ですが、講義概要において「必ずホームページを見てください」と記しましたが、ご覧いただけなかったのか、研究計画が書かれていませんでした。そのため研究計画における 4 つの能力を評価することができませんでした。この 2 つの研究計画は E ランクとさせていただき、不採択としました。

また研究計画以外のことが多く書かれており、あまり研究計画については書かれていなかった、特に仮説が書かれていなかったために、高く評価することができなかったものを D ランクとさせていただきます。もう少し、ホームページの研究計画例に添っていただけると、4つの能力を評価しやすかったです。もしかしたら大変良い研究なのかもしれません。しかし志望理由書に書かれた研究計画で評価するお約束なので、涙をのんで、このランクの 2 つの研究計画も不採択とさせていただきます。

あと残りの 13 の研究計画は、すべて問いを見つめる構想力や、斬新な仮説を導き出す独創性で、優れた点が見られて、ぜひ一緒に研究したいと強く想いました。しかし定員は最大で 11 名です。2 名の不採択を選ばなければなりません。大変苦しく、心が痛む仕事でした。

まず、構想力・独創性ともすばらしく、もう 3 年のゼミに加わってもらってもいいのではないかと思える 4 つの研究計画を A ランクとして採択しました。次に仮説の構築の独創性が極めて高かった 2 つの研究計画を B ランクとして採択しました。自分の経験を考えて、仮説を立てたのが良かったのだと思います。

さて残り 7 つから 5 つを選ばなければなりません。甲乙つけがたく、大変悩みました。4 つの能力について素晴らしい点の多いものから 5 つを選びました。

選ばれなかった 2 つの研究計画についても、実は大変素晴らしい A クラスの研究になりうるものだったかもしれませんが、私の 4 つの能力を発見する能力が低かったために、評価が低かっただけかもしれません。ぜひ他のゼミで能力を発揮し、そして卒業後活躍されることを切に望んでおります。

個別にコメントを聞きたい方は、ぜひ小宮山までお訪ねください。それでは 17 名の皆さまが、卒業後 10 年後、20 年後に「よい大学生活がおくれた」とご満足いただけることを祈念して、この報告を終わらせていただきます。

ⁱ 第二希望に小宮山研究室を選んでいただいた方の志望理由書は担当の先生から見せていただけないことになっております。研究計画のコメントが欲しい方は、お持ちいただければ、よろこんで拝見させていただきます。